

《シンフォニーア、ニ長調》(1808年)¹ 水谷 彰良

シンフォニーア、ニ長調 *Sinfonia in Re maggiore*

作曲 1808年、ボローニャ

初演 1808年12月23日ボローニャ、アッカデーミア・ポリムニアカ (Accademia Polimniaca) の演奏会

編成 管弦楽 (1フルート、2オーボエ、2クラリネット、1ファゴット、2ホルン、2トランペット、弦楽5部)

演奏時間 約5分

自筆楽譜 未発見または消失。重要な筆写譜はボローニャの市立音楽図書館 (Bologna, Civico Museo Bibliografico Musicale, TT[Alumni] XXIV terzo/2-14 及び terzo/1) 及びラヴェンナの大司教文書館 (Ravenna, Archivio Arcivescovile) に所蔵 [パート譜と総譜]。

初版楽譜 下記全集版

現行版 下記全集版

全集版 VI / 1 (Paolo Fabbri 校訂, Fondazione Rossini, Pesaro, 1998.)

構成 ニ長調、4/4拍子、アンダンテ・ノン・タント～2/2拍子、アレグロ

解説

自筆楽譜の存在が確認されず、前記ボローニャとラヴェンナ所蔵の筆写譜を典拠とするシンフォニーア (通称:《ボローニャのシンフォニーア (Sinfonia di Bologna)》)。ボローニャのアッカデーミア・ポリムニアカのために作曲し、1808年12月23日に同アカデミーの演奏会で初演され、同月30日付『イル・レダットーレ・デル・レーノ (*Il Redattore del Reno*)』紙で瑞々しい才能を高く評価された。

曲は序奏部 (ニ長調、4/4拍子、アンダンテ・ノン・タント) と主部 (ニ長調、2/2拍子、アレグロ) からなり、アレグロの主題は後に《幸せな間違い》(1812年) 序曲に再使用される。

推薦ディスク:

- ・ Riccardo Chailly 指揮ボローニャ歌劇場管弦楽団 (1991年録音 Decca 436 832)
- ・ Alun Francis 指揮ボルツァーノ・ハイドゥン管弦楽団 (1992/93年録音 Cpo 999 063-2)



¹ 初出は『ロッシニアーナ』第33号所収「ロッシニ全作品事典(25) ロッシニの器楽曲①」。HP用の改訂版、2015年1月。